



↑長島の玄関、黒之瀬戸大橋で交通安全を呼びかける商工会会員

★ 交通安全キャンペーン展開 商工会が安全運転呼びかけ

商工会の日（6月10日）に合わせ、長島町商工会（古田義富会長）は6月8日、黒之瀬戸大橋の駐車場前で交通安全キャンペーンを展開しました。

本年4月に旧2町の商工会が合併して誕生した同商工会。昨年までは、商工会の日の記念行事として、旧東町商工会は上場の交差点で交通安全キャンペーンを、旧長島町商工会は指江で清掃作業を実施していました。

同日は、阿久根警察署の協力を得て、同商工会の会員約20人が、黒之瀬戸大橋を行き交うドライバーに交通安全チラシやヤクルト、ティッシュなどを配り、安全運転を呼びかけました。

古田会長は「交通安全を呼びかけながら、商工会をアピールしてほしい」と話していました。

↓先輩部員の前で自己紹介をする新後継者



★ 新漁業後継者激励会 試練を乗り越え頑張る

東町漁業協同組合青壮年部（水永一朗部長）は6月6日、通常総会に合わせて平成19年度新漁業後継者激励会を開催しました。

近年、第1次産業は後継者不足に悩まされている状況ですが、本年度は同組合管内に8人の若者が新漁業後継者として就業しました。

同会では、水永部長が激励のあいさつをした後、後継者を代表して薄井の濱島恭平さん（22）が「町水産業発展のために努力し、試練を乗り越えて頑張る覚悟です」と誓いのことを述べました。

★ 恒 長島町戦没者追悼式 久平和への誓いを新たに

悲しい歴史を二度と繰り返さないで。長島町戦没者追悼式が6月12日、長島町開発総合センターで執り行われました。

式典には、長島町東地区遺族会員や関係者ら約60人が参列し、黙とうを捧げて御霊を慰めました。川添健町長が「町が大きく発展したのは国難に殉じられた戦没者のおかげです」とあいさつした後、参列した遺族らは祭壇に献花し、亡くなられた犠牲者のご冥福を祈りながら、恒久平和への誓いを新たにしました。



↑厳粛に執り行われた追悼式